

茨城調査時報



目次

夏期農業基本調査の実施について	1
毎月人口世帯異動調査結果速報	2
毎月勤労統計調査結果速報	3
昭和29年産農作物実収高(その2)	7
本県における商業調査の結果概要(その4)	11
本県における刑法犯罪の発生状況	14
町村合併の状況とその将来	18
町村合併後における新市町村の世帯数及び人口	19
生産動態調査結果	21
昭和30年国勢調査実施要領	25
統計用語の解説	26
編集室	26

1955.7

夏期農業基本調査の実施について



来る8月1日を期して、県下一斉に夏期農業基本調査を実施することになりました。

御承知のとおり、この調査は県独自の統計として、農業に関する最も重要な調査で、農業経営の実態を明かにし、県及び市町村における行政施策の基礎資料を作成するための調査であります。従つて農家から申告された調査事項は、統計以外の目的には絶対使用いたしませんから、安心してありのままの事実を正しく申告していただくように説明願います。

調査の対象となるものは、経営耕地面積5畝以上の農家、及びその他の農業事業体（学校、会社、協同組合、試験場、その他の共同経営等）であります。しかし経営耕地面積が5畝未満であっても、農業（耕種、養畜、養蚕の一以上）を営んで、昭和29年における農業生産物の販売額が2万円以上であれば、例外規定の農家として調査の対象となります。

この調査の実施に当り、7月下旬に各市町村の農業統計調査員は、各農家を廻つて調査票を配付すると共にその記入方法についての質問に対し、十分納得のゆくまで説明して、記入漏れや、誤りのないように指導願います。なお調査事項は次の7項目です。

1. 世帯主(管理者)の氏名
2. 世帯員の数(うち農業従事者数、二、三男の数)世帯員の数とは、ふだん同一世帯に住んでいる者で、一時的の旅行や、短期間の出稼等に出ている者も世帯員として入れて下さい。また農業従事者とは、世帯員のうち年間60日以上自家農業に従事した者を年齢別に記入して下さい。
農家二、三男とは、ふだん同一世帯に住んでいる者で、戸籍上のいかににかかわらず、将来家を離れて独立または分家することを予定している満15才以上満30才未満の男子をいいます。なお農家二、三男についての調査項目は次の六つであります。
イ、自家農業に従事（常に従事、他に職なく時々従事）
ロ、農家以外の自家産業に従事
ハ、職員勤務
ニ、賃労働
ホ、学生、生徒
ヘ、その他

3. 経営土地の面積

あなたの家の耕地を田、畑(普通畑、その他の畑)樹園地(果樹園、茶園、桑園、その他の樹園地)別に記入するので、散在的な樹園地については、園地の樹冠の投影面積が1畝以上のものを調査します。

4. 田畑(樹園地を含む)の増減面積とは、過去1年間に耕地面積の増減があつた場合のみ、田、畑別所有地、借入地別に記入するのです。

5. 夏作物の作付面積

調査票(4)の事項については、各農家で栽培している夏作物の作付面積を記入するものです。該当のないときはそのまま空欄にしておいて下さい。

6. 農業用機械

農業用機械は次のとおり区分して記入するものです。

イ、農家単独所有とは、農家において所有する機械を調査票(6)にある機械の区分により記入するものです。ただし8月1日に他人に貸している機械は記入しますが、他人から借りている機械は記入する必要がありません。

ロ、農家共同所有とは、農家が共同で買入れた機械を常時保管している農家で記入して下さい。(たとえば10軒の農家で共同所有の場合でも常時保管している農家から申告するので、残り9軒の農家では記入の必要がありません。)

ハ、地方公共団体(市町村役場)農業協同組合から借りて使用している農機具は記入の必要がありません。

ニ、地方公共団体(市町村役場)、農業協同組合所有にかかる農機具について、今回特に所有台数を調査することになりましたから調査漏れのないよう注意して下さい。

7. 堆肥小屋の有無

堆肥小屋の有無を調査票(7)により、イありますロありません、のうち該当する文字を○印で囲んで下さい。



毎月人口世帯異動調査結果速報

(昭和30年5月分)

茨城県総務部調査課

— 結果の概況 —

昭和30年5月末日現在における本県人口は、2,069,394人で、その内訳は男が1,006,698人、女が1,062,696人で前月末人口より940人の増加となっている。

この人口異動状況を内訳別にみれば出生が3,694人、死亡が1,304人で、2,390人の自然増加となっている。この出生、死亡の割合は出生100人に対し、死亡は35人である。次に社会異動面についてみると、県内の移動及びその

他の事由によつて633人の増加があつたが、その反面県外からの転入者2,502人に対し、県外へ転出した者が5,585人あつたため、2,083人の転出超過となっている。結局社会異動により1,450人の減少となっているが、自然増加が2,390人なので本月中に増加した人口は、940人とどまつている。

1. 前月との比較

月別	区分	世帯数	人口			移動内訳	
			総数	男	女	県内	
						転入	転出
4月	月	383,205	2,068,454	1,006,280	1,062,174	6,980	6,791
5月	月	383,321	2,069,394	1,006,698	1,062,696	5,135	4,667
増減		116	940	418	522	△1,845	△2,124

月別	区分	移動内訳					
		県外		出生	死亡	その他	
		転入	転出			増加	減少
4月	月	4,865	8,609	3,503	1,394	1,439	1,241
5月	月	3,502	5,585	3,694	1,304	1,233	1,068
増減		△1,363	△3,024	191	△90	△206	△173

2. 市郡別世帯数及び人口数

(注) △印は減をあらわす

市郡別	区分	世帯数	人口		
			総数	男	女
県市	計	(1,208) 383,321	(4,710) 2,069,394	(2,643) 1,006,698	(2,067) 1,062,696
水戸	戸	(48) 23,391	(175) 109,503	(99) 52,642	(76) 56,861
日立	立	(158) 27,151	(666) 130,632	(378) 65,054	(288) 65,578
土浦	浦	(124) 15,903	(431) 72,289	(250) 35,132	(181) 37,157
古河	河	(34) 8,000	(162) 40,033	(82) 18,730	(80) 21,303
石岡	岡	(14) 7,226	(53) 36,358	(31) 17,588	(22) 18,770
下館	館	(71) 9,604	(319) 52,860	(188) 25,562	(131) 27,298
結城	城	(21) 6,884	(82) 39,625	(48) 19,083	(34) 20,542
竜崎	崎	(80) 6,634	(295) 34,303	(162) 16,663	(133) 17,640
薮下	下	(23) 6,837	(75) 33,114	(44) 15,386	(31) 17,728
妻小	妻	(13) 5,609	(54) 32,295	(33) 15,516	(21) 16,779
水戸	道	(35) 6,297	(175) 34,031	(99) 16,348	(76) 17,683
常陸	田	(22) 7,785	(69) 39,815	(39) 19,390	(30) 20,425
勝高	萩	(9) 7,087	(35) 36,180	(20) 17,773	(15) 18,407
郡	計	(556) 238,379	(2,119) 1,347,019	(1,170) 656,291	(949) 690,728
茨城	城	(13) 27,567	(74) 149,189	(33) 72,395	(41) 76,794
東西	城	(54) 17,569	(231) 96,108	(130) 46,610	(101) 49,498
那久	珂	(53) 21,042	(192) 115,011	(111) 56,313	(81) 58,698
多賀	賀	(79) 14,629	(311) 79,919	(157) 38,793	(154) 41,126
鹿行	賀	(20) 14,603	(58) 74,468	(34) 37,295	(24) 37,173
稲新	島	(85) 21,301	(328) 125,247	(180) 60,816	(148) 64,431
筑波	方	(17) 12,984	(90) 75,591	(55) 36,611	(35) 38,980
真結	敷	(52) 20,577	(159) 115,069	(95) 56,081	(64) 58,988
袁北	治	(22) 15,923	(61) 90,108	(40) 44,266	(21) 45,842
相馬	波	(76) 17,215	(296) 98,517	(154) 48,187	(142) 50,330
	壁	(19) 13,887	(59) 82,070	(33) 39,887	(26) 41,183
	城	(7) 9,390	(41) 57,040	(20) 27,663	(21) 29,377
	島	(31) 20,382	(108) 126,384	(61) 61,123	(47) 65,261
	馬	(28) 11,310	(111) 62,298	(67) 30,251	(44) 32,047

() 内は外国人の内書

毎月勤労統計調査結果速報

(昭和30年3月分)

労働省大臣官房労働統計調査部
茨 城 県

結果の概況

1. 給与は前月に引続き上昇

3月分常用労働者総数の1人当り平均賃金給与総額は産業総数15,272円で、2月に比べて5.8%(844円)の増加である。これは運輸通信業の年度末手当と官公営の御売及び小売業の奨励手当や年度末手当などの支給によつて

臨時的給与が大巾に増加したことによるものである。しかし一方僅かではあるが、繊維業、ガラス製品製造業、電気機械器具製造業などの給与が減少したのは、給与算定期間に2月末日を含む事業所が多いため、出勤日数労働時間数なども、同じ様に減少した。

第1表 産業及び常用労働者の種類別1人当平均月間給与額

産業名	現金給与額		きまつて支給する給与		特別に支払われた給与	
	3月	対前月差	3月	対前月差	3月	対前月差
總数	15,272	+ 844	14,573	+ 163	699	+ 681
鉱業	13,722	+ 729	13,722	+ 729	0	—
生産管理事務	13,634	+ 833	13,634	+ 833	0	—
製造業	14,237	+ 148	14,237	+ 148	0	—
生産管理事務	13,923	+ 43	13,754	- 94	169	+ 137
製造業	11,726	+ 37	11,726	+ 37	141	—
生産管理事務	18,645	+ 17	18,415	- 133	230	+ 150
御売及び小売業	20,043	+ 5,689	14,859	+ 505	5,184	+ 5,184
運輸通信業	16,815	+ 757	16,250	+ 101	645	+ 636
建設業	28,890	+ 187	8,890	+ 187	0	—
医療保険業	14,912	- 280	14,912	- 280	0	—

2. 労働時間と出勤日数は保合

本月の労働時間数は、調査産業総数で187.6時間と先月と全く同じである。これを産業別に見ると、鉱業は前月に2.2時間の減少であったが、本月は逆に12.3時間と大量の増加を示している。製造業は2月に12.5時間の増加であったが、本月は総数で6時間、生産労働者で4.1時間、事務者で8.5時間の減少となっている。これは調査期間内に2月末日を含んでいる事業所が多いためである。この締切日の影響をうけないその他の産業は、それぞれ2月に比べて増加した。出勤日数についても労働時間と同様の現象である。

第2表 産業及び常用労働者の種類別1人平均月間労働時間及び出勤日数

産業名	労働時間数		出勤日数	
	3月	対前月差	3月	対前月差
總数	187.6	—	23.2	- 0.1
鉱業	195.2	+12.3	24.3	+ 0.7
生産管理事務	195.9	+14.1	24.2	+ 1.8
製造業	190.6	- 6.3	24.7	- 0.3
生産管理事務	184.8	- 6.0	22.7	- 0.7
製造業	184.8	- 4.1	22.6	- 0.6
生産管理事務	184.7	- 8.5	22.9	- 1.3
御売及び小売業	178.3	+ 1.5	23.6	+ 0.3
運輸通信業	190.0	+ 1.2	23.2	+ 0.2
建設業	195.2	+ 8.6	23.7	+ 0.6
医療保健業	193.5	+ 0.1	23.4	—

3. 常用雇用は引続き減少

常用雇用は引続き減少の傾向を示して来たが、今月も依然として産業総数で0.6%の減となった。これを産業別に見れば、製造業の1%を最高として各産業とも次表のとおり減少したが、この減少傾向のなかにあつて、運輸通信業(0.2%増)、建設業(1.5%)のみが前に引続き、

保合又は上昇の線を辿っていることは注目すべきことである。

第3表 産業及び常用労働者の種類別増加減少及び月末推計労働者数

産業名	増加	減少	本月末労働者数	対前月比
總数	569	965	52,622	- 0.7
鉱業	143	195	9,578	- 0.5
生産管理事務	127	182	8,154	- 0.7
製造業	16	13	1,424	—
生産管理事務	294	177	25,988	- 1.0
製造業	224	524	17,713	- 0.2
生産管理事務	70	142	8,275	- 0.8
御売及び小売業	8	9	1,727	—
運輸通信業	124	90	14,253	+ 0.2
建設業	292	245	3,220	+ 1.5
医療保健業	25	42	1,920	- 0.9

4. 臨時、日雇労働者は増加

臨時日雇労働者の月間延人員は2月に続き967人の増となった。このなかで、特に御売及び小売業の4,848人の大量人員の減少は煙草収納事務完了による整理解雇のためである。

第4表 産業別臨時及び日雇労働者の月間延人員及び1人1日平均現金給与額

産業名	月間延人員		1人1日平均現金給与額	
	3月	対前月差	3月	対前月差
總数	50,798	+ 967	277	- 5
鉱業	7,015	+ 818	272	+ 5
製造業	15,777	- 2,077	281	- 25
御売及び小売業	4,633	- 4,848	341	+ 85
運輸通信業	22,608	+ 5,309	264	- 10
建設業	65,874	- 6,212	343	+ 17
医療保健業	146	+ 26	205	- 7

第1表 産業、常用労働者の種類及び性別1人平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の1人1日平均現金給与額 (規模30人以上) (単位円)

産 業 名	現金給与総額			きまつて支給する給与			特別に支払われた給与			臨時及び日雇労働者の1人1日平均現金給与額
	総 数	男 子	女 子	総 数	男 子	女 子	総数	男子	女子	
全 常 用 労 働 者										
總 数	15,272	16,923	7,395	14,573	16,191	6,852	699	732	543	277
D 鉱 業	13,722	14,518	5,546	13,722	14,518	5,546	0	0	0	272
F 製 造 業	13,923	16,314	6,408	13,754	16,169	6,163	169	145	245	281
20 食 料 品 製 造 業	12,720	14,699	5,274	12,720	14,699	5,274	0	0	0	274
22 紡 織 業	5,823	11,729	4,769	5,823	11,729	4,769	0	0	0	154
23 衣 服 及 び 身 廻 品 製 造 業	5,663	11,495	4,385	5,663	11,495	4,385	0	0	0	120
32 ガラス及び土石製品製造業	11,804	12,611	5,691	11,796	12,604	5,676	8	7	15	307
35 機 械 製 造 業	12,485	13,214	5,893	12,485	13,274	5,893	0	0	0	321
36 電 気 機 械 器 具 製 造 業	16,696	18,290	7,599	16,696	18,290	7,599	0	0	0	401
G 卸 売 及 び 小 売 業	20,043	21,545	9,643	14,859	15,899	7,661	5,184	5,646	1,982	341
J 運 輸 通 信 業 及 び 其 他 の 公 益 事 業	16,815	17,706	9,669	16,250	17,017	9,421	645	689	248	264
E 建 設 業	8,890	9,476	6,413	8,890	9,496	6,413	0	0	0	343
K 医 療 保 健 業	14,912	20,687	10,778	14,912	20,687	10,778	0	0	0	205
生 産 労 働 者										
D 鉱 業	13,634	14,305	5,115	13,634	14,305	5,115	0	0	0	—
坑 内	15,789	15,789	—	15,789	15,789	—	0	0	—	—
坑 外	9,540	10,728	5,115	9,540	10,728	5,115	0	0	0	—
F 製 造 業	11,716	13,758	5,644	11,726	13,885	5,905	141	261	97	—
20 食 料 品 製 造 業	11,673	13,493	4,480	11,673	13,493	4,480	0	0	0	—
22 紡 織 業	4,944	7,964	4,672	4,944	7,964	4,672	0	0	0	—
23 衣 服 及 び 身 廻 品 製 造 業	5,071	10,139	4,309	5,071	10,139	4,309	0	0	0	—
32 ガラス及び土石製品製造業	11,095	11,804	4,759	11,103	11,812	4,759	8	0	8	—
35 機 械 製 造 業	11,885	12,277	5,821	11,885	12,277	5,821	0	0	0	—
36 電 気 機 械 器 具 製 造 業	14,352	15,559	7,154	14,352	15,559	7,154	0	0	0	—
E 建 設 業	7,374	7,631	6,475	7,374	7,631	6,475	0	0	0	—
管 理 事 務 及 び 技 術 労 働 者										
D 鉱 業	14,237	15,906	6,561	14,237	15,906	6,561	0	0	0	—
F 製 造 業	18,645	21,060	7,969	18,415	20,821	7,775	230	239	194	—
20 食 料 品 製 造 業	15,270	17,778	6,972	15,270	17,778	6,972	0	0	0	—
22 紡 織 業	11,882	15,140	6,398	11,882	15,140	6,398	0	0	0	—
23 衣 服 及 び 身 廻 品 製 造 業	10,522	14,000	5,679	10,522	14,000	5,679	0	6	0	—
32 ガラス及び土石製品製造業	17,351	18,589	8,395	17,336	18,589	8,380	15	0	15	—
35 機 械 製 造 業	13,693	15,623	5,937	13,693	15,623	5,937	0	0	0	—
E 電 気 機 械 器 具 製 造 業	20,123	22,350	8,193	20,123	22,350	8,193	0	0	0	—
36 建 設 業	13,053	14,052	6,112	13,053	14,052	6,112	0	0	0	—

(注)1. 総数及び製造業の結果は煙草製造業、木材及び木製品製造業、紙及び類似品製造業、印刷及び出版類似業、化学工業、精密機械製造業、第一次金属製造業、金属製品製造業、その他の製造業及び金融及び保険業(何れも調査事業所僅少のため公表除外)を含めて算定したものである。
 2. 総数の中には建設業及びサービス業は含まれない。
 3. 生産労働者欄の建設業は常用作業者についての数値である。
 4. 生産労働者、管理事務及び技術労働者の表の卸売及び小売業、金融及び保険業、運輸通信及びその他の公益事業サービス業の結果については、労働者の種類別に調査を実施していないので計数は得られない。

第2表 産業、常用労働者の種類及び性別1人平均月間実労働時間数及び出勤日数(規模30人以上)

産 業 名	総実労働時間数			所定内労働時間数			所定外実労働時間数			出 勤 日 数		
	総 数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
全 常 用 勞 働 者												
總 数	187.6	190.0	176.5	173.7	174.3	171.1	13.9	15.7	5.4	23.2	23.3	22.5
D 鉱 業	195.2	196.2	183.8	177.3	177.4	175.4	17.9	18.8	8.4	24.3	24.3	24.1
F 製 造 業	184.8	188.0	175.0	170.8	170.7	171.1	14.0	17.3	3.9	22.7	22.8	22.2
20 食 料 品 製 造 業	190.3	193.0	180.2	174.9	174.7	175.6	15.4	18.3	4.6	23.3	23.6	22.5
22 紡 織 業	181.9	192.7	180.1	180.2	186.8	179.1	1.7	5.9	1.0	22.5	23.3	22.4
23 衣服及び身廻品製造業	178.2	188.8	175.8	175.0	184.7	172.9	3.2	4.1	2.9	22.0	23.1	21.7
32 ガラス及び土石製品製造業	188.1	190.2	171.6	166.8	167.1	164.0	21.3	23.1	7.6	22.1	22.1	21.8
35 機 械 製 造 業	175.3	176.1	167.8	161.7	161.4	163.4	13.6	14.7	4.1	21.0	21.0	21.2
36 電気機械器具製造業	185.8	188.3	171.6	170.4	171.1	166.5	15.4	17.2	5.1	22.9	23.0	22.4
G 卸 売 及 び 小 売 業	178.3	177.7	182.0	166.0	165.4	169.6	12.3	12.3	12.4	23.6	23.7	22.9
J 運 輸 通 信 及 び 其 他 公 益 事 業	190.0	191.1	179.9	178.2	179.0	171.2	11.8	12.1	8.7	23.2	23.3	22.6
E 建 設 業	195.2	192.3	207.1	187.7	183.4	205.6	7.5	8.9	1.5	23.7	23.2	26.0
K 医 療 保 健 業	193.5	199.0	189.6	179.0	179.2	178.8	14.5	19.8	10.8	23.4	23.6	23.3
生 産 勞 働 者												
D 鉱 業	195.9	196.8	185.2	177.6	177.7	176.0	18.3	19.1	9.2	24.2	24.3	23.8
坑 内	191.7	191.7	—	178.0	178.0	—	13.7	13.7	—	23.9	23.9	—
坑 外	204.0	180.3	185.2	176.8	177.0	176.0	27.2	3.2	9.2	24.9	25.1	23.8
F 製 造 業	184.8	188.5	174.7	170.4	170.0	171.5	14.4	18.5	3.2	22.6	22.7	22.1
20 食 料 品 製 造 業	192.3	195.3	180.7	174.2	173.5	177.0	18.1	21.8	3.7	23.2	23.6	21.8
22 紡 織 業	181.2	190.0	180.4	179.6	181.2	179.4	1.6	8.8	1.0	22.5	22.7	22.4
23 衣服及び身廻品製造業	178.1	181.9	176.4	174.8	184.2	173.4	3.3	4.9	3.0	21.9	23.1	21.8
32 ガラス及び土石製品製造業	187.9	190.6	163.3	165.6	166.3	158.7	22.3	24.3	4.6	21.9	22.0	21.1
35 機 械 製 造 業	175.6	175.4	178.4	161.4	160.8	170.9	14.2	14.6	7.5	20.8	20.7	21.6
36 電気機械器具製造業	185.9	188.8	168.7	169.5	170.5	163.9	16.4	18.3	4.8	22.8	22.9	22.2
E 建 設 業	190.7	185.6	208.9	184.0	177.3	207.6	6.7	8.3	1.3	23.0	22.1	26.1
管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者												
D 鉱 業	190.6	192.8	180.2	175.4	175.7	173.9	15.2	17.1	6.3	24.7	24.7	24.9
F 製 造 業	184.7	186.7	175.6	171.4	171.8	169.7	13.3	14.9	5.9	22.9	23.0	22.6
20 食 料 品 製 造 業	185.3	187.6	179.1	176.5	178.0	172.7	8.8	9.6	6.4	23.6	23.5	23.8
22 紡 織 業	187.3	195.0	174.4	184.8	191.8	173.0	2.5	3.2	1.4	23.1	24.0	21.6
23 衣服及び身廻品製造業	178.4	188.3	164.6	176.3	185.6	163.4	2.1	2.7	1.2	22.3	23.2	20.9
32 ガラス及び土石製品製造業	189.7	187.9	195.4	174.6	173.2	179.7	15.1	14.7	16.7	23.3	23.1	24.0
35 機 械 製 造 業	174.5	177.7	161.3	162.1	162.8	159.3	12.4	14.9	2.0	21.2	21.6	20.9
36 電気機械器具製造業	185.6	187.4	175.3	171.7	172.0	169.9	13.9	15.4	5.4	23.0	23.1	22.6
E 建 設 業	207.4	208.8	198.1	197.9	198.3	195.6	9.5	10.5	2.5	25.9	25.9	25.4

(注) 第1表参照

(第3表) 産業、常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者数並びに産業別臨時及び日雇労働者の月間推計延人員(規模30人以上)

産 業 名	前月末労働者数			本月中の増加			本月中の減少			本月末労働者数			臨時及び日雇労働者の月間推計延人員
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
全 常 用 勞 働 者													
總 数	53,018	43,815	9,203	569	413	156	965	706	259	52,622	43,522	9,100	50,798
D 鉱 業	9,630	8,752	878	143	127	16	195	126	69	9,578	8,753	825	7,015
F 製 造 業	26,360	20,015	6,345	294	177	117	666	494	172	25,988	19,698	6,290	15,777
20 食 料 品 製 造 業	1,062	838	224	20	16	4	19	13	6	1,063	841	222	10,361
22 紡 織 業	2,377	357	2,020	3	0	3	79	8	71	2,301	352	1,949	280
23 衣服及び身廻品製造業	606	112	494	40	2	38	16	4	12	630	110	520	251
32 ガラス及び土石製品製造業	1,697	1,500	197	16	1	15	23	0	23	1,690	1,492	198	1,785
35 機 械 製 造 業	2,025	1,814	211	17	1	16	228	215	13	1,814	1,615	199	1,604
36 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	11,793	10,033	1,760	56	46	10	85	68	17	11,764	10,011	1,753	586
G 卸 売 及 び 小 売 業	1,728	1,509	219	8	2	6	9	1	8	1,727	1,510	217	4,633
J 運 輸 通 信 及 び そ の 他 の 公 益 事 業	14,219	12,786	1,433	124	107	17	90	81	9	14,253	12,812	1,441	22,608
E 建 設 業	3,175	2,563	612	292	238	54	245	225	20	3,222	2,576	646	65,874
K 88 医 療 保 健 業	1,937	806	1,131	25	10	15	42	13	29	1,920	803	1,117	146
生 産 勞 働 者													
D 鉱 業	8,209	7,586	623	127	112	15	182	116	66	8,154	7,582	572	—
坑 内	5,363	5,363	—	83	83	—	90	90	—	5,356	5,356	—	—
坑 外	2,846	2,223	623	44	29	15	92	26	66	2,798	2,226	572	—
F 製 造 業	18,013	13,210	4,803	224	126	98	524	389	135	17,713	12,947	4,766	—
20 食 料 品 製 造 業	755	600	155	9	9	0	13	7	6	751	602	149	—
22 紡 織 業	2,079	171	1,908	2	2	0	75	7	68	2,006	166	1,840	—
23 衣服及び身廻品製造業	542	74	468	32	0	32	14	4	10	560	70	490	—
32 ガラス及び土石製品製造業	1,470	1,323	147	14	13	1	20	20	0	1,464	1,316	148	—
35 機 械 製 造 業	1,367	1,289	78	15	15	0	184	184	0	1,198	1,120	78	—
36 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	7,007	6,000	1,007	34	29	5	59	48	11	6,982	5,981	1,001	—
E 建 設 業	2,327	1,822	505	267	214	53	232	212	20	2,362	1,824	538	—
管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者													
D 鉱 業	1,421	1,166	255	16	15	1	13	10	3	1,424	1,171	253	—
F 製 造 業	8,347	6,805	1,542	70	51	19	142	105	37	8,275	6,751	1,524	—
20 食 料 品 製 造 業	307	238	69	11	7	4	6	0	6	312	239	73	—
22 紡 織 業	298	186	112	1	0	1	4	1	3	295	186	109	—
23 衣服及び身廻品製造業	64	38	26	8	2	6	2	0	2	70	40	30	—
32 ガラス及び土石製品製造業	227	177	50	2	0	2	3	0	3	226	176	50	—
35 機 械 製 造 業	658	525	133	2	1	1	44	31	13	616	495	121	—
36 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	4,786	4,033	753	22	17	5	26	20	6	4,782	4,030	752	—
E 建 設 業	848	741	107	25	24	1	13	13	0	860	752	108	—

(注) 第1表参照

昭和 29 年 産 農

1. 緑肥用作物について

緑肥用作物としての、れんげそう、青刈大豆、青刈とうもろこし、ルービン、ザートウエツケン、その他の総作付面積は1,680町8反4畝でそのうち、れんげそう1,434町9反5畝(85.4%)、青刈大豆124町7反5畝(7.3%)、青刈とうもろこし13町6反6畝(0.8%)、ルービン60町5反8畝(3.6%)、ザートウエツケン2町8反1畝(0.2%)、その他44町

区 別 市 郡 別	れんげそう				青 刈 大 豆				青刈とうもろこし			
	田		畑		田		畑		田		畑	
	作 面	推 収	作 面	推 収	作 面	推 収	作 面	推 収	作 面	推 収	作 面	推 収
總 数	1,420.46	6,805,641	14.49	118,612	65.73	317,435	59.02	334,980	—	—	13.66	54,725
水 戸 市	6	720	—	—	—	—	55	5,500	—	—	—	—
日 立 市	12	600	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土 浦 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
古 河 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石 岡 市	1.15	4,880	—	—	—	—	—	—	—	—	1.61	4,200
下 館 市	280.64	700,850	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
結 城 市	45.25	724,000	—	—	13.39	160,600	18.46	221,500	—	—	1.30	6,500
竜ヶ崎 市	12	1,200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
那珂湊 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
下 妻 市	370.50	1,111,500	1.20	36,000	—	—	—	—	—	—	—	—
水海道 市	35.12	210,720	80	4,800	82	48,000	—	—	—	—	—	—
常陸太田 市	30.30	181,200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
勝 田 市	35.10	228,100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高 萩 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東茨城 郡	9.40	30,050	69	3,680	16	320	5.10	11,950	—	—	—	—
西茨城 郡	61.97	186,980	7	250	4.70	12,690	2.40	6,480	—	—	95	2,850
那 珂 郡	10.82	28,220	94	3,000	1.19	5,150	2.30	2,700	—	—	—	—
久 慈 郡	43.19	272,826	2.18	9,352	—	—	—	—	—	—	—	—
多 賀 郡	98.92	920,845	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿 島 郡	9.97	61,150	30	1,800	—	—	—	—	—	—	—	—
行 方 郡	24.63	133,440	—	—	89	1,335	30	700	—	—	—	—
稲 敷 郡	2.59	4,600	33	660	—	—	32	1,100	—	—	9.70	40,375
新 治 郡	30.00	142,100	30	900	50	500	34	680	—	—	—	—
筑 波 郡	104.27	480,140	6.43	50,400	20.03	57,590	14.13	46,770	—	—	10	800
真 壁 郡	173.46	1,081,440	—	—	7.20	14,400	12.50	26,000	—	—	—	—
結 城 郡	16.22	122,340	24	1,320	16.85	16,850	48	900	—	—	—	—
猿 島 郡	4.64	7,380	—	—	—	—	2.14	10,700	—	—	—	—
北 相 馬 郡	32.02	170,350	101	6,450	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 表中作面は作付面積、推収は推定

作物実収高 (その2)

9 畝 (2.7%) となる。推定実収高は8,379,558貫でその内訳は、れんげそう6,924,253貫(82.6%)、青刈大豆652,415貫(7.8%)、青刈とうもろこし54,725貫(0.7%)、ルービン409,900貫(4.9%)、ザートウエツケン19,675貫(0.2%)、その他318,590貫(3.8%)で、昭和28年と比較すれば、作付面積358町2反(27%)増、推定収穫高は1,860,643貫(29%)増となっている。次表は市郡別に作付面積、推定収穫高を示す。(表中ルービン、ザートウエツケンはその他に含む。)

その他				合				計	
田		畑		田		畑		計	
作面	推取	作面	推取	作面	推取	作面	推取	作面	推取
畝 1.00	3,500	畝 106.68	744,665	畝 1,487.19	7,126,576	畝 193.65	1,680.84	畝 1,252,982	8,379,558
—	—	73	94,900	6	720	1.28	1.34	100,400	101,120
—	—	—	—	12	600	—	12	—	600
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	1.15	4,880	1.61	2.74	4,200	9,080
—	—	—	—	280.64	700,850	—	280.64	—	700,850
—	—	—	—	58.64	884,600	19.76	78.40	228,000	1,112,600
—	—	26	1,300	12	1,200	26	38	1,300	2,500
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	27	675	370.50	1,111,500	1.47	371.97	36,675	1,148,175
—	—	—	—	35.94	258,720	80	36.74	4,800	263,520
—	—	3.70	22,200	30.30	181,200	3.70	34.00	22,200	203,400
—	—	—	—	35.10	228,100	—	35.10	—	228,100
—	—	—	—	9.56	30,380	5.79	15.35	15,630	46,010
—	—	10	700	66.67	199,670	3.52	70.19	10,280	209,950
80	2,500	33.22	155,900	12.81	35,870	36.46	49.27	161,600	197,470
—	—	—	—	43.19	272,826	2.18	45.37	9,352	282,178
—	—	—	—	98.92	920,845	—	98.92	—	920,845
20	1,000	64.38	430,500	10.17	62,150	64.68	74.85	432,300	494,450
—	—	—	—	25.52	134,775	30	25.82	700	135,475
—	—	—	—	2.59	4,600	10.35	12.94	42,135	46,735
—	—	—	—	30.50	142,600	64	31.14	1,580	144,180
—	—	3.82	38,490	124.30	537,730	24.48	148.78	136,460	674,190
—	—	—	—	180.66	1,095,840	12.50	193.16	26,000	1,121,840
—	—	—	—	33.07	139,190	72	33.79	2,220	141,410
—	—	—	—	4.64	7,380	2.14	6.78	10,700	18,080
—	—	—	—	32.02	170,350	1.01	33.03	6,450	176,800

収穫高を示す。高萩市は多賀郡に含む

2. 飼料用作物について

飼料用作物としての、れんげそう、青刈大豆、青刈とうもろこし、ルーピン、馬こやし、ザートウエツケン、その他の総作付面積は368町9反2畝で、その内訳は、れんげそう16町8反4畝(4.6%)、青刈大豆70町9反8畝(18.2%)、青刈とうもろこし248町8反9畝(67.5%)、ルーピン2反2畝(0%)、馬こやし1反2畝(0%)、ザートウエツケン9反3畝(0.3%)、その他30町9反4畝(8.4%)となっている。推定収穫高は2,209,318貫で、れんげそう(6.2%)、青刈大豆

飼 料 用 作

区 分 市郡別	れんげそう				青 刈 大 豆				青 刈 とうもろこし			
	田		畑		田		畑		田		畑	
	作 面	推 収	作 面	推 収	作 面	推 収	作 面	推 収	作 面	推 収	作 面	推 収
總 数	15.81	134,070	1.03	3,740	144	14,520	69.54	310,610	2.19	32,850	246.70	1,499,288
水 戸 市	—	—	—	—	—	—	1.10	11,000	—	—	3.22	57,960
日 立 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	500
土 浦 市	—	—	—	—	—	—	5.80	34,220	—	—	—	—
古 河 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38	1,140
石 岡 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.23	10,998
下 館 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.22	30,000
結 城 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
竜ヶ崎 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.01	15,050
那珂湊 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
下 妻 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.39	5,560
水海道 市	20	1,200	—	—	—	—	16.31	97,860	—	—	1.06	6,500
常陸太田 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31	1,700
勝 田 市	—	—	—	—	—	—	35	1,000	—	—	15.00	105,000
高 萩 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東 茨 城 郡	—	—	—	—	68	12,242	3.19	9,870	—	—	51.05	274,703
西 茨 城 郡	2.46	7,900	9	450	—	—	9.26	47,840	—	—	24.63	9,860
那 珂 郡	—	—	—	—	—	—	1.38	5,000	—	—	9.98	46,604
久 慈 郡	60	4,000	12	360	—	—	49	970	—	—	2.70	9,240
多 賀 郡	71	2,630	—	—	—	—	1.83	2,620	—	—	3.12	30,045
鹿 島 郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.13	55,955
行 方 郡	—	—	—	—	—	—	6.22	29,460	2.19	32,850	2.76	14,010
稻 敷 郡	—	—	—	—	—	—	40	1,190	—	—	10.12	40,273
新 治 郡	2.74	11,200	50	1,650	—	—	3.62	10,150	—	—	40.29	254,670
筑 波 郡	4.36	79,700	20	600	16	480	1.20	1,710	—	—	3.01	9,150
真 壁 郡	4.13	24,450	—	—	60	1,800	5.75	15,170	—	—	15.44	185,715
結 城 郡	61	2,990	7	430	—	—	1.17	4,660	—	—	3.77	12,420
猿 島 郡	—	—	—	—	—	—	9.53	28,360	—	—	24.29	129,415
北 相 馬 郡	—	—	5	250	—	—	1.94	9,530	—	—	16.56	132,820

(注) 高萩市は多

(14.7%)、青刈とうもろこし(69.3%)、ルーピン(0%)、馬こやし(0%)、ザートウエツケン(0.4%)、その他(9.4%)となる。青刈とうもろこし、青刈大豆等はエンシレザカッター及び押切等によつて切断され、サイロに詰込み貯蔵し、冬期間の重要な家畜飼料として利用される。(ルーピン、馬こやし、ザートウエツケンは作付面積僅少につき表中の、その他の欄へ含める。)

物 実 収 高

そ の 他				合 計					
田		畑		田		畑		計	
作 面	推 収	作 面	推 収	作 面	推 収	作 面	推 収	作 面	推 収
62	9,300	31.57	204,940	20.06	190,740	348.86	2,018,578	368.92	2,209,318
—	—	100	13,000	—	—	5.32	81,960	5.32	81,960
—	—	—	—	—	—	3	500	3	500
—	—	—	—	—	—	5.80	34,220	5.80	34,220
—	—	16	400	—	—	54	1,540	54	1,540
—	—	1.46	4,700	—	—	5.69	15,698	5.69	15,698
—	—	—	—	—	—	3.22	30,000	3.22	30,000
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	2.43	1,300	—	—	5.44	16,350	5.44	16,350
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
62	9,300	—	—	62	9,300	1.39	5,560	2.01	14,860
—	—	—	—	20	1,200	17.37	104,360	17.57	105,560
—	—	—	—	—	—	31	1,700	31	1,700
—	—	—	—	—	—	15.35	106,000	15.35	106,000
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	68	12,240	54.24	284,573	54.92	296,813
—	—	2.09	106,800	2.46	7,900	36.17	224,950	38.53	232,850
—	—	48	2,170	—	—	11.84	53,774	11.84	53,774
—	—	33	1,655	60	4,000	3.64	12,225	4.24	16,225
—	—	2.37	45,000	71	2,630	7.32	77,665	8.03	80,295
—	—	18	1,260	—	—	7.31	57,215	7.31	57,215
—	—	9	715	2.19	32,850	9.07	44,185	11.26	77,035
—	—	4.33	16,740	—	—	14.85	58,203	14.85	58,203
—	—	1.40	4,400	2.74	11,200	45.81	270,870	48.55	282,070
—	—	9.05	1,700	4.52	80,180	13.46	13,160	17.98	93,340
—	—	6.00	4,800	4.73	26,250	27.19	205,685	31.92	231,935
—	—	—	—	61	2,990	5.01	17,510	5.62	20,500
—	—	22	300	—	—	34.04	158,075	34.04	158,075
—	—	—	—	—	—	18.55	142,600	18.55	142,600

賀 郡 に 含 む

本県における商業調査の結果概要 (その4)

(第十一表)

昭和29年商業調査乙(常用労働者のいない個人経営)結果表

産 業 細 分 類 名	区 分 名	商 店 数	従業者数				商品販売額等 8月1日から同月31日まで1ヶ月間 の実績 (千円)			
			事 業 家 族	主 従 業 者	及 び 者	臨時 日 雇 の 労働者	販 売 額		計	手数料 その他 のサ ービス 料
							男	女		
G	卸売及び小売業	27,628	25,388	21,260	46,648	428	215,444	1,661,983	1,877,427	21,547
40	一般卸売業	1,022	1,376	511	1,887	65	180,596	21,105	201,701	157
4011	自動車卸売業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4012	自動車部分品附属卸	1	1	—	1	—	180	30	210	—
4021	化学薬品卸売業	2	2	—	2	—	—	—	—	—
4022	医薬品卸売業	7	7	6	13	—	2,528	206	2,737	—
4023	化粧品卸売業	13	14	7	21	—	2,053	209	2,262	—
4031	織物卸売業	22	27	5	32	—	4,830	463	5,293	—
4032	衣服及び身廻品卸売	28	38	13	51	4	6,190	404	6,594	—
4041	味噌及び醤油卸売業	11	17	8	25	—	3,016	721	3,737	—
4042	酒類卸売業	6	12	6	18	—	2,965	876	3,841	—
4049	他に分類されない飲食 品卸	189	256	151	407	11	43,444	5,535	48,979	13
4051	農畜産物卸売業	207	271	76	347	5	42,983	4,824	47,807	61
4052	水産物卸売業	62	91	41	132	1	11,968	981	12,949	9
4061	電気機械器具卸売業	6	6	1	7	—	1,311	170	1,481	—
4071	家具建具什器卸売業	23	31	13	44	1	2,930	885	3,815	2
4081	機械器具卸売業	23	31	8	39	—	—	—	—	—
4083	金物卸売業	1	1	1	2	—	—	—	—	—
4084	配管暖房用品卸売業	—	—	—	—	—	5,154	492	5,646	—
4091	金属品卸売業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4092	鋳物卸売業	1	1	1	2	—	—	—	—	—
4093	紙及び紙製品卸売業	19	31	12	43	—	1,946	514	2,460	—
4094	屑物卸売業	80	95	30	125	9	4,782	303	5,085	3
4096	木材、竹材建築材料卸	190	268	59	327	25	22,030	—	22,030	63
4097	生糸及び繭卸売業	4	5	—	5	—	555	—	552	—
4098	農畜産物卸売業	18	26	8	34	2	2,412	906	3,318	5
4099	他に分類されない卸売業	109	145	65	210	7	19,319	3,586	22,905	1
41	特殊卸売業	234	253	39	292	—	947	802	1,749	6,385
4121	代理商仲立業	211	225	25	250	—	797	487	1,284	5,432
4131	米穀集荷業	11	13	8	21	—	150	70	220	307
4132	農産物集荷業	12	15	6	21	—	—	245	245	646
42	各種商品小売業	72	82	71	153	—	150	10,834	10,984	1
4211	百貨店	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4221	均一価格店	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4299	他に分類されない各種商 品小売業	72	82	71	153	—	150	10,834	10,984	1
43	織物衣服及び身廻品小売業	2,461	2,450	1,980	4,430	23	1,735	177,557	179,292	2,077
4311	織物及び和服小売	589	613	574	1,187	9	108	68,253	68,361	382
4321	既成服小売(婦人子供を 除く)	53	52	39	91	—	—	2,802	2,802	51

産 業 細 分 類 名	区 分 店 数	従業者数				臨時日 雇の労 働者	商 品 販 売 額 等 8月1日から同月31日まで1ヶ月間 の実績 (千円)			
		事業主及び 家族従業者			計		販 売 額		計	手数料そ の他のサ ービス料
		男	女	計			卸 売	小 売		
4322 注文洋服小売業	195	227	93	320	7	—	6,564	6,564	663	
4331 婦人子供服小売業	77	70	79	149	1	—	6,141	6,141	46	
4341 中古衣服小売業	45	40	21	61	—	112	2,282	2,394	1	
4351 靴小売業(中古靴を除く)	174	215	46	261	1	36	8,094	8,130	764	
4352 履物小売業	677	629	517	1,146	1	891	29,526	30,417	88	
4391 毛皮製品小売業	3	5	2	7	—	—	145	145	—	
4392 洋品雑貨小間物小売業	613	567	588	1,155	4	413	52,438	52,851	50	
4399 他に分類されない織物衣服身廻品小売業	35	32	21	53	—	175	1,312	1,487	32	
44 飲食料品小売業	13,444	11,322	12,169	23,491	102	22,182	853,144	875,326	1,960	
4411 各種食料品小売業	862	759	914	1,673	9	1,412	64,971	66,383	133	
4421 酒及び調味料小売業	2,060	2,008	2,002	4,010	10	3,120	257,033	260,153	293	
4431 食肉小売業	222	227	187	414	2	535	13,257	13,792	—	
4432 卵及び鳥肉小売業	124	137	71	208	1	125	6,093	6,218	11	
4441 鮮魚小売業	1,015	1,198	759	1,957	9	938	63,094	64,032	56	
4451 乾物小売業	554	535	539	1,074	4	3,159	42,805	45,964	5	
4464 野菜小売業	834	886	767	1,653	6	1,091	54,264	55,355	2	
4462 果物小売業	270	231	259	490	—	441	14,278	14,719	—	
4471 菓子小売業	5,435	3,102	4,961	8,063	17	6,198	154,427	160,625	75	
4472 パン小売業	184	143	190	333	2	281	7,408	7,689	3	
4481 生乳小売業	33	61	26	87	1	50	3,183	3,233	—	
4491 米麦小売業	559	717	429	1,146	19	935	122,011	122,946	1,200	
4492 料理品小売業	103	70	97	167	2	52	3,678	3,730	10	
4493 茶小売業	101	86	72	158	1	2,051	6,142	8,193	—	
4494 雑穀及び豆類小売業	22	19	13	32	—	—	851	851	8	
4499 他に分類されない飲食料品小売業	1,066	1,143	883	2,026	19	1,794	39,649	41,443	164	
45 飲食店	1,168	648	1,449	2,097	76	30	4,5802	45,832	48	
4511 飲食店	1,168	648	1,449	2,097	76	30	45,802	45,832	48	
46 路上運搬機小売業	1,081	1,428	121	1,549	9	281	44,685	44,966	5,122	
4611 自動車小売業	925	1,193	107	1,300	5	261	39,211	39,472	4,668	
4612 自転車部分品小売業	42	46	7	53	—	—	1,211	1,211	183	
4621 自動車小売業	4	6	1	7	—	—	542	542	49	
4622 自動車部分品小売業	4	6	—	6	1	—	445	445	—	
4699 他に分類されない路上運搬機小売業	106	177	6	183	3	20	3,276	3,296	222	
47 石油小売業	77	82	58	140	6	645	10,626	11,271	—	
4711 石油小売業	77	82	58	140	6	645	10,626	11,271	—	
49 その他の小売業	8,069	7,747	4,862	12,609	147	8,878	497,428	506,306	5,797	
4911 家具小売業	466	589	55	644	9	75	13,931	14,006	438	
4912 建具小売業	550	712	20	732	11	36	13,452	13,488	620	

産 業 細 分 類 名	店 数	従 業 者 数					商 品 販 売 額 等 8月1日から同月31日まで1ヶ月間 の実績 (千円)			
		事 業 主 及 び 者			臨 時 日 雇 の 労 働 者	販 売 額		計	手 数 料 そ の 他 の サ ー ビ ス 料	
		男	女	計		卸 売	小 売			
		数	数	数	数	数	数	数	数	
4921 畳 小 売 業	127	181	16	197	1	270	3,628	3,898	377	
4931 医薬品及び化粧品小売	526	459	440	899	7	1,064	49,204	50,268	12	
4941 金物小売業	291	341	174	515	4	161	26,605	26,766	170	
4942 農耕用品小売業	621	765	289	1,054	8	1,009	64,413	65,422	587	
4943 荒物小売業	1,260	1,180	968	2,148	5	3,530	72,967	76,497	140	
4951 家庭用機械器具小売	402	446	141	587	4	155	24,853	25,008	1,381	
4961 陶磁器硝子器小売	156	153	124	277	—	497	10,061	10,558	6	
4971 中古自動車小売業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4972 中古自転車小売業	15	16	1	17	—	—	292	292	48	
4973 その他の中古路上運搬機 小売	3	1	4	5	—	—	130	130	—	
4974 古雑誌古書籍小売業	10	9	4	13	—	—	170	170	16	
4979 他に分類されない中古品 小売業	27	25	11	36	—	—	1,644	1,644	7	
4981 燃料小売業	395	420	233	653	25	1,165	28,570	29,735	4	
4991 書籍雑誌文具小売業	754	521	680	1,201	48	430	36,292	36,722	33	
4992 煙草小売業	1,499	918	1,251	2,169	2	48	108,538	108,586	47	
4993 運動具娯楽用品小売業	46	41	34	75	1	3	1,844	1,847	—	
4994 花及び植木小売業	69	58	58	116	1	7	2,449	2,456	6	
4995 玩具小売業	188	108	178	286	1	70	6,420	6,490	—	
4996 楽器小売業	5	6	2	8	—	—	272	272	5	
4997 写真機写真材料小売業	29	30	21	51	1	—	2,893	2,893	160	
4998 時計眼鏡光学機械小売	213	253	44	297	—	—	10,537	10,537	1,544	
4999 他に分類されない小売業	417	515	114	629	19	358	18,263	18,621	196	

◎先に本誌の5、6月号に掲載した〔本県における商業調査の結果概況(その2、3)〕中次のように訂正することになりました。

(5月号の分)

	(誤)	(正)
	千円	千円
11頁 左欄上から11行目	7,138,077	6,757,077
11頁 左欄下から10行目	2,058,570	1,677,570
11頁 左欄下から12行目	竜ヶ崎市 538,281千円(7.5%)	削除
11頁 左欄下から3行目	(1.3%)	(1.4%)
〃 〃 〃	217千円	205千円
〃 〃 〃	竜ヶ崎市の765千円(52.0%)	削除する。
〃 右欄上から18行目	3,709,763千円(52.0%)	3,328,763千円(49.3%)
〃 〃 19行目	(18.6%)	19.6%
〃 〃 20行目	(17.1%)	18.1%

12頁 (第四表)

	(誤)	(正)
	千円	千円
月間商品販売額	7,138,077	6,757,077
昭和29年度	増減額及び増減率	
	(誤)	(正)
	2,058,570千円	1,677,570千円
	40.5%	増 33.0%

12頁 下部図表 8月中における商品販売額割合

	(誤)	(正)
一 般 卸 売 業	52.0%	49.3%
各 種 商 品 小 売 業	1.2%	1.3%
織物衣服及び身廻品小売業	7.0%	7.4%
飲 食 料 品 小 売 業	18.6%	19.6%
飲 食 店	1.7%	1.8%
路 上 運 搬 機 小 売 業	1.1%	1.2%
そ の 他 の 小 売 業	17.1%	18.1%

(14頁へつづく)

本県における刑法犯罪の発生状況

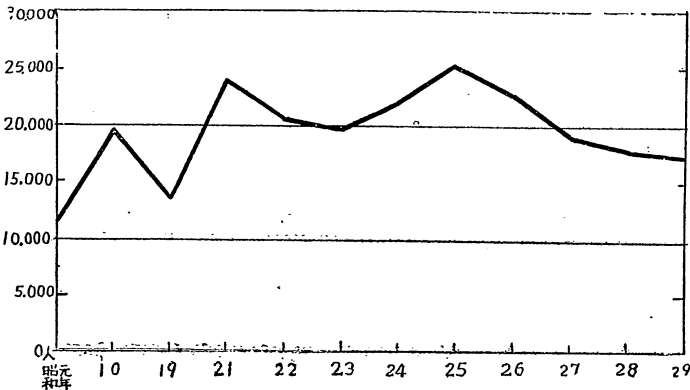
私たちは常に明るい平和な文化生活を求めて働き、そのために社会も又動きつつ発展して行くのである。しかし貧困と病氣と犯罪の三大悪弊は常に私たちの日常生活に結びついている。そして経済の貧困も、肉体や精神の不健全もみな犯罪につながる危険な要素を多分に含んでいるといつても過言ではない。私たちはこの罪惡の現象を取り除き、1日も早く明るい平和な社会を作り上げなければならない。

近代における社会、経済、文化の発達に伴い、各種の犯罪がますます増加して来たことは寒心に堪えないことである。特に終戦後における経済事情の窮迫、混乱と社会道徳のたい廃によって、刑法犯罪の発生数は急激に増加したが、最近になり漸次減少しつつあることは、国民生活の安定と社会教育の普及によるものと思われる。しかし未だ29年には全国における刑法犯の発生が、1,360,405件、検挙件数 952,777(検挙率70.0%)というぼう大な数にのぼっているのだから驚くほかはない。これを1日当りにすれば全国で3,727件(28年3,684件)の犯罪が起きてることになるわけである。

本県においてもこの全国的趨勢にならば、刑法犯の発

生は戦後ますます増加の一途を辿り、遂に昭和25年には、24,897件(1日当り68件)と戦前の最高記録である昭和10年の19,413件(1日当り53件)を遥かに上廻り、本県の犯罪史上類例を見ない数にのぼつたのである。しかしその後は漸次減少して、昭和29年には発生件数 17,341(28年17,823件) 検挙件数12,151(28年12,629件)となっている。これを1日当りにすれば29年には47.5件(28年48.8件)で検挙率は70.0%(28年70.9%)である。ここで犯罪の種類別を見ると、29年の発生総数17,341件の内、最高は窃盗の11,629件(67.1%)で、次に暴行傷害の1,547件(8.9%)、詐欺の1,254件(7.0%)の順となり、最も少いのは嬰兒殺の2件となっている。また犯罪の傾向として最も要慮すべきことは、相変わらず少年(20才未満)の犯罪が案外多く、これが検挙人員は29年に1,734人(28年2,355人)で総検挙人員に対し、23.4%(28年26.3%)を占めていることである。(発生件数検挙件数は県防犯課の資料による。)

次の15、16、17頁に県警察本部防犯課において取まとめた昭和29年における刑法犯罪罪種別発生検挙前年比較表を掲載する。



(13頁よりつづく)

14頁(第6表) 総 数	八月中販売額(千円)	(誤)	(正)
〃	一商店当り月間販売額(千円)	7,138,077	6,757,077
〃	電ヶ崎市	217	205
〃	八月中販売額(千円)	538,281	157,281
〃	一商店当り月間販売額(千円)	765	223
〃	八月中販売額の郡市別百分比上段から括弧内訂正数字		
	(26.7) (4.3) (7.1) (5.0) (3.1) (5.2) (2.7) (2.3) (2.3) (1.9) (1.8) (2.7) (3.5) (2.4)		
	25.3 4.1 6.8 4.8 2.9 4.9 2.6 7.5 2.2 1.8 1.7 2.6 3.3 2.2		
	(3.0) (2.2) (4.7) (3.0) (2.3) (2.3) (1.4) (1.8) (2.1) (1.3) (3.0) (1.9)		
	2.8 2.1 4.4 2.9 2.2 2.1 1.3 1.7 2.0 1.2 2.8 1.8		
16頁(第8表) 総 数	八月中商品販売額(千円)	7,138,077	6,757,077
〃	平均月間商品販売額	217	205
〃	一般卸売業	3,709,763	3,328,763
〃	平均月間商品販売額	1,740	1,561
	月間商品販売額の百分比上段から (括弧内訂正数字)		
	(49.3) (同) (1.3) (7.4) (19.6) (1.8) (1.2) (同) (18.1)		
	52.0 0.2 1.2 7.0 18.6 1.7 1.1 1.1 17.1		

昭和29年における刑法犯罪

罪種	年度	1 月			2 月			3 月			4 月			5 月		
		発生	検挙	人員	発生	検挙	人員	発生	検挙	人員	発生	検挙	人員	発生	検挙	人員
		別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別
殺人	{28 29}	— 4	— 4	— 4	4 6	4 6	4 6	9 4	9 3	10 3	4 4	4 4	4 4	1 3	1 3	1 3
嬰兒殺	{28 29}	1 1	1 1	2 1	—	—	—	3	4	4	—	—	—	1	1	1
強盗	{28 29}	5 9	4 6	11 8	8 9	8 4	6 3	14 3	13 2	17 1	8 3	5 4	8 2	9 7	6 5	13 5
放火	{28 29}	3 1	3 1	3 1	4 3	4 2	4 2	3 2	3 2	2 2	4 2	4 2	4 2	3 10	3 10	3 11
強姦	{28 29}	6 10	5 10	5 16	3 2	4 2	3 2	13 2	13 2	15 4	1 6	1 5	1 7	6 7	6 7	7 9
暴行	{28 29}	29 24	29 24	17 19	21 30	21 30	16 24	82 17	82 17	68 20	34 23	34 23	33 16	23 43	23 43	26 26
傷害	{28 29}	73 56	72 56	86 67	62 55	62 54	82 55	189 55	189 55	222 71	55 95	53 94	60 99	82 145	85 146	109 161
脅迫	{28 29}	6 4	6 4	6 2	5 1	5 —	5 —	31 4	31 4	19 3	5 5	5 4	2 4	7 5	7 5	7 2
恐喝	{28 29}	20 9	20 8	26 4	18 15	18 15	7 12	51 9	51 9	37 11	25 11	26 11	17 23	29 11	29 12	22 10
窃盗	{28 29}	912 932	412 344	249 175	917 1,118	538 706	258 206	1,639 1,061	1,220 570	631 225	941 1,004	584 663	216 229	945 1,010	502 489	299 244
贓物	{28 29}	23 14	23 14	20 13	15 13	15 13	10 9	108 23	108 23	58 21	30 23	30 23	22 15	27 30	27 30	15 24
詐欺	{28 29}	111 44	109 43	60 26	105 69	105 64	61 37	423 127	421 112	280 61	146 98	143 93	75 41	81 122	79 117	47 53
瀆職	{28 29}	4 —	4 —	12 —	2 —	2 —	6 —	3 —	3 —	10 —	1 —	1 —	— —	1 1	1 1	— —
横領	{28 29}	51 37	51 36	37 37	75 31	72 31	49 12	157 61	160 61	122 40	64 45	64 45	39 33	76 54	76 54	51 30
猪博	{28 29}	5 2	5 2	31 13	3 3	3 3	11 19	11 2	11 2	45 13	1 3	1 3	14 10	6 2	6 2	28 9
墮胎	{28 29}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
わいせつ行為	{28 29}	—	—	—	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—	2	3
わいせつ物	{28 29}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他刑法犯	{28 29}	125 103	125 103	125 99	105 91	103 91	106 90	222 118	223 118	210 109	79 112	79 111	68 98	99 98	98 98	88 92
計	{28 29}	1,374 1,250	869 656	690 485	1,349 1,446	965 1,022	629 477	2,959 1,488	2,542 990	1,750 584	1,398 1,435	1,034 1,087	565 584	1,396 1,550	950 1,024	717 683

罪種別發生檢挙前年比較表

(県警察本部防犯課調)

6 月			7 月			8 月			9 月			10 月			11 月		
發生	檢挙	人員	發生	檢挙	人員	發生	檢挙	人員	發生	檢挙	人員	發生	檢挙	人員	發生	檢挙	人員
4	4	4	3	3	3	5	5	8	3	3	3	1	1	1	3	3	3
2	2	3	5	5	4	3	3	7	6	7	8	3	4	3	3	3	3
2	2	2	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	6	9	2	2	3	13	4	5	10	16	10	6	4	4	3	3	1
7	6	6	8	7	7	10	9	14	8	7	14	6	4	3	7	6	7
1	1	2	10	10	4	2	1	1	2	2	2	1	1	1	—	—	—
3	3	2	3	3	3	1	—	—	2	2	2	1	—	—	1	2	1
6	6	8	1	1	1	5	5	9	16	16	25	5	4	7	3	2	4
8	8	17	1	1	7	11	10	10	8	7	11	4	4	7	5	5	5
41	41	39	33	33	27	43	43	37	42	42	43	30	30	29	28	28	21
40	40	32	19	19	16	59	59	23	35	35	28	34	34	33	29	29	18
101	100	112	99	98	107	121	120	143	101	102	119	91	89	87	53	55	69
134	134	160	74	75	81	130	127	167	135	136	161	99	99	118	81	82	91
8	8	7	11	10	7	14	14	4	7	7	4	8	8	6	3	4	4
14	14	10	9	9	8	11	11	5	10	10	4	6	6	7	12	12	7
21	20	17	27	28	39	19	18	19	20	20	15	33	31	17	7	7	9
24	24	14	15	15	12	85	86	56	20	18	20	26	26	24	48	47	23
819	481	248	782	410	256	829	413	229	946	426	229	907	419	207	953	464	229
1,151	681	311	893	443	183	893	550	208	790	454	180	881	469	185	1,046	637	232
30	30	24	23	23	21	17	17	15	10	10	9	16	16	11	22	22	15
22	22	15	16	16	11	10	10	9	11	11	10	13	13	11	31	31	27
130	127	80	110	111	94	95	91	76	124	121	99	102	100	62	82	75	43
140	140	82	95	91	43	126	118	39	142	137	71	98	98	40	113	114	51
4	4	23	18	18	19	1	1	—	—	—	—	2	2	5	6	6	4
2	2	2	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
53	53	38	60	60	49	62	61	47	69	69	46	65	65	42	67	67	52
97	97	55	47	47	32	46	45	28	45	45	27	40	40	24	35	35	25
2	2	7	2	2	6	2	2	8	6	6	19	4	4	12	3	3	16
2	2	5	—	—	—	4	4	7	1	1	4	6	6	51	3	3	10
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	3	1	—	—	—	3	3	3	—	—	—	2	2	1	—	—	—
2	2	2	4	4	2	1	1	1	3	3	4	1	1	2	—	—	—
—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
96	96	83	90	90	80	92	91	80	101	101	105	71	71	65	82	82	77
171	165	145	102	102	91	145	145	119	123	122	129	105	104	88	119	119	109
1,327	984	704	1,273	901	718	1,323	890	684	1,457	941	728	1,344	847	557	1,315	821	547
1,819	1,342	861	1,291	835	500	1,536	1,179	694	1,339	995	673	1,323	908	595	1,533	1,125	609

昭和29年における刑法犯罪々種別発生検挙前年比較表

(続き)

区 別 罪 種 別	12月			合計			増減			検挙人員 前年との対比											
	発生	検挙	人員	発生	検挙	人員	発生	検挙	人員	成人	少年	計	成人	少年	計						
殺人 {28 29}	3 8	2 8	3 8	40 51	39 52	44 56	+	11	+	13	+	12	36 49	8 7	44 56	+	13	-	1	+	12
嬰兒殺 {28 29}	—	—	—	9 2	9 2	10 2	-	7	-	7	-	8	8 2	2 —	10 2	-	6	-	2	-	8
強盗 {28 29}	3 8	1 3	2 5	87 85	72 63	89 75	-	2	-	9	-	14	59 44	30 31	89 75	-	15	+	1	-	14
放火 {28 29}	5 5	4 5	4 4	38 34	36 32	30 30	-	4	-	4	-	—	22 23	8 7	30 30	+	1	-	1	-	—
強姦 {82 29}	1 5	1 5	1 2	66 69	64 66	86 97	+	3	+	2	+	11	46 51	40 46	86 97	+	5	+	6	+	11
暴行 {28 29}	34 39	33 39	27 33	440 392	439 392	383 288	-	48	-	47	-	95	307 236	76 52	383 288	-	71	-	24	-	95
傷害 {28 29}	113 96	113 96	135 122	1,140 1,155	1,138 1,154	1,331 1,353	+	15	+	16	+	22	1,115 1,168	216 185	1,331 1,353	+	53	-	31	+	22
脅迫 {28 29}	5 1	4 1	3 1	110 82	109 82	74 53	-	28	-	27	-	21	66 52	8 1	74 53	-	14	-	7	-	21
恐喝 {28 29}	14 26	13 26	13 25	284 299	281 297	238 234	+	15	+	16	-	4	160 169	78 65	238 234	+	9	-	13	-	4
窃盗 {28 29}	859 850	445 514	260 200	11,449 11,629	6,314 6,520	3,311 2,578	+	180	+	206	-	733	1,765 1,515	1,546 1,063	3,311 2,578	-	250	-	483	-	733
贓物 {28 29}	11 18	11 18	9 16	332 224	332 224	229 181	-	108	-	108	-	48	190 168	39 13	229 181	-	22	-	26	-	48
詐欺 {28 29}	69 80	67 77	41 52	1,578 1,254	1,549 1,214	1,018 596	-	324	-	335	-	422	947 555	71 41	1,018 596	-	392	-	30	-	422
瀆職 {28 29}	8 —	8 —	9 —	50 4	50 4	90 4	-	46	-	46	-	86	90 4	— —	90 4	-	86	-	—	-	86
横領 {28 29}	44 56	44 56	28 38	843 594	843 592	600 381	-	249	-	251	-	219	546 339	54 42	600 381	-	207	-	12	-	219
賭博 {28 29}	— 4	— 4	— 28	45 32	45 32	197 169	-	13	-	13	-	28	193 160	4 9	197 169	-	33	+	5	-	28
墮胎 {28 29}	—	—	—	—	—	—	-	—	-	—	-	—	—	—	—	-	—	-	—	-	—
わいせつ 行爲 {28 29}	—	—	—	10 13	10 13	6 13	+	3	+	3	+	7	6 8	— 5	6 13	+	2	+	5	+	7
わいせつ 物 {28 29}	—	—	—	1	1	1	-	1	-	1	-	1	1	—	1	-	1	-	—	-	1
その他 刑法犯 {28 29}	139 135	139 135	142 120	1,301 1,422	1,298 1,412	1,229 1,289	+	121	+	114	+	60	1,054 1,122	175 167	1,229 1,289	+	68	-	8	+	60
計 {28 29}	1,308 1,331	885 987	677 654	17,823 17,341	12,629 12,151	8,966 7,399	-	482	-	478	-	1,567	6,611 5,665	2,355 1,734	8,966 7,399	-	946	-	621	-	1,567

町村合併の状況とその将来について

昭和28年10月に町村合併促進法が施行されて以来、漸次町村合併の気運が全国的に盛り上がり、3~5万の新市がぞくぞく誕生し、他面着々として町村合併の歴史的な大事業が進められ、今や法律施行前の町村数(1,976町、7,606村)に比べ、約53%(5,083町村)の旧町村が姿を消しております。

	市	村			合計
		町	村	小計	
昭和28年 10月30日	286	1,976	7,606	9,582	9,868
昭和29年 4月1日	490	1,836	2,663	4,499	4,989
比較	+ 204	- 140	- 4,943	- 5,083	- 4,879

全国で合併実績のよい都県(進捗率90%以上)は、鹿児島(減少35町村)、山形(減少159町村)、栃木(減少96町村)大分(減少128町村)、青森(減少85町村)、茨城(減少242町村)、富山(減少108町村)、東京(減少37町村)、福井(減少95町村)、愛媛(減少129町村)の順になっております。(昭和30年4月1日現在自治庁調)

本県においても28年11月に石岡町と高浜町が合併したのを皮切りとして、県内各地に合併ブームを現出したわけでありまして、そして去る5月3日の憲法記念日までには、合併計画の殆どを終了し(進捗率95%)、更に7月1日までは240ヶ町村が減少して、本県の市町村数は126(28年11月の合併前366)となりました。この実績(進捗率)は全国で第7位を占め、減少町村数は全国第1位にのぼっております。特に本県は明治以来全国でも、面積、人口に比べて町村数が多過ぎるといわれていた頃を思い合せると、新しく3分の1の大町村によって、本県の行政地図が大きく塗り変えられた今日では、誠に今昔の感に堪えません。(県地方課調)

	市	村			合計
		町	村	小計	
昭和28年 10月30日	4	55	307	362	366
昭和29年 7月1日	14	43	69	112	126
比較増減	+ 10	- 12	- 238	- 250	- 240

そもそもこの町村合併の大事業は、明治以来最も困難な事業として、各方面から敬遠されて来たものでありますが、このたびの画期的な合併事業の実績は、わが国地方自治の歴史の上に輝かしい進歩と発展の足跡を残すことになりました。この合併事業は更に地方事務所、その他国及び県の出先機関の在り方、府県の統廃合、道州制などの問題にまで発展し、今後の大きな課題となることでありましょう。しかしこの輝かしい業績の陰には、県や地方事務所の適切なあつせん指導と市町村理事者の協力にも増して、一般住民の理解と犠牲心が大きな原動力となつてゐることを銘記しなければなりません。新しい市町村の発足に当つては、市町村議員の激増や行政事務のじう滞、更に弱小都市の濫設など一時的には、いろいろの不合理的な面を含んでおりますが、適正な行政の運営を図ると共に消費的経費を極力節約して、予算の効率的な使用に努力しなければなりません。ただこ

こで中央地方を通ずる行政の在り方(権限の委譲、地方交付税、財源の適正分配、補助金など)を根本的に再検討する必要があることは多言を要しません。

新市町村の将来には、更に機構の改革や、財産の管理、負債の処理などの問題も当然起きて来るものと思われませんが、これらの問題を解決して行くためには、単なる目前の利益や感情関係に迷つて、性急に事を運ぶことは大禁物であります。私たち日本人には昔の封建時代からの名残りとして、部落根性とか、他国者扱いするとかのセクシヨナリズムが余りにも強過ぎるようでありまして。そのために往々派閥の抗争や部落対立、分村やりこり問題などを起し、更に一部においては暴力沙汰に及び、刑事事件や行政事件にまで発展したことは誠に残念であります。県地方課の調べによると、本県における紛争事件は19件にのぼつておりますが、これには感情の激突、面子の問題や、選挙地盤の関係なども相当影響しているようです。私たちはやはりじつじつと腰を据えて、お互いの意見や希望を出し合い、十分納得の行くまで話合つてある程度の協調し得る線を見出すように努力して、将来への禍根を残さないようにすべきであります。すなわち混乱や紛争に対しては、お互いに理性と寛容を保ち、柔軟性と抱よう性をもつて、あくまでも自主的解決を図るよう努力しなければなりません。

たとえば農地や山林の管理、学校、協同組合、商工会などの譲渡、引継ぎ、あるいは市町村名や役職員の割振りなどの問題をめぐつて、住民間の対立抗争を招き、合併の促進を相当阻害したようであります。更にこれらの問題は合併後においても、当然起きて来るものと思ひますが、PTAや青年婦人団体の活動、学校教育と広報活動や新生活運動などを通じ、お互いの共通的悩みの解消を足がかりとして、お互いの融和協調を図る必要があります。ただこの際余りにも妥協のみに終始して、日和見主義に陥つたり、総花的予算を組んだりすることは、厳に戒めなければなりません。そしてあくまでも新時代への認識と住民全体の福祉を増進するという大乗の見地に立つて、誰もが忍耐力と決断力をもつて、あらゆる物事を冷静に処理すべきであります。

今後とも県や市町村当局としては、この合併事業の目的が、『支出過剰と赤字に悩む地方自治体の窮状を打開すると共に、行政区劃の適正化を促進し、行政事務の円滑化を図ること』を一般に対して、十分周知徹底させる必要があると思ひます。一方市町村民の方々には、これを契機として政治へ関心と自治意識の向上に努め、従来の『あなただけの地方自治体』から、『私たちの自治体』にまで発展させなければならないと思ひます。それにはどうしても新市町村としては、県や中央への依存主義をかなぐり捨てて、自主独立、融和協調の精神を基調とし、あらゆる困難と障害を克服して、総合的かつ合理的な建設計画を着実に進める必要があります。そして新市町内における未利用資源の利用と産業の振興を図り、道路、橋梁港湾、河川などの改修整備を促進すると共に、面教育文化事業や保健衛生施設などの拡充強化を図り、産業経済団体や社会文化団体の活発な運営を助成して、市町村全体の健全な発展を図り、新しい地方自治体の基盤を育成して行かなければならないと思ひます。そこに初めて住民一人一人の意志と努力によつて、作り上げられたところの民主的な地方自治が確立され、明るい希望に満ちた郷土が新しく生れることでありましょう。(野上生)

町村合併後における新市町村別

市町村別	世帯数	人 口			市町村別	世帯数	人 口		
		男	女	計			男	女	計
水戸市	23,356	52,462	56,710	109,172	東海村	1,840	5,853	5,757	11,610
日立市	27,090	65,039	65,401	130,440	那珂町	5,923	15,442	16,129	31,571
土浦市	15,884	35,073	37,081	72,154	国田村	659	1,812	1,837	3,649
古河市	7,965	18,700	21,210	39,910	瓜連町	1,332	3,316	3,523	6,839
石岡市	7,229	17,617	18,785	36,402	大宮町	4,593	11,974	12,683	24,657
下館市	9,609	25,556	27,296	52,852	塩田村	547	1,413	1,554	2,967
結城市	6,888	19,109	20,558	39,667	山方町	2,413	6,314	6,465	12,779
竜ヶ崎	6,645	16,688	17,665	34,353	檜沢村	678	1,861	1,958	3,819
那珂湊	6,836	15,338	17,709	33,047	小瀬村	889	2,263	2,356	4,619
下妻市	5,610	15,521	16,755	32,276	長倉村	559	1,372	1,533	2,905
水海道	6,292	16,354	17,701	34,055	八里村	705	2,092	2,230	4,322
常陸太田市	7,785	19,384	20,409	39,793	巖郷村	901	2,588	2,709	5,297
勝田市	7,084	17,730	18,362	36,092	久慈郡	14,640	38,803	41,181	79,984
高萩市	6,518	15,525	15,765	31,290	金砂郷村	2,817	7,673	8,173	15,846
東茨城郡	27,570	72,389	76,798	149,187	天下野村	597	1,477	1,594	3,071
常澄村	1,811	5,143	5,322	10,465	高倉村	385	983	1,020	2,003
石崎村	1,084	3,022	3,137	6,159	水府村	1,367	3,508	3,757	7,265
赤塚村	1,908	4,902	5,162	10,064	賀美村	638	1,660	1,770	3,430
茨城町	4,471	12,454	12,948	25,402	小里村	829	2,344	2,544	4,888
小川町	3,015	8,086	8,575	16,661	大子町	8,007	21,158	22,323	43,481
竹原村	1,097	3,059	3,184	6,243	多賀郡	14,614	37,388	37,200	74,588
堅倉村	1,580	4,435	4,596	9,031	豊浦町	874	2,161	2,241	4,402
内原村	2,269	6,630	6,655	13,285	十王村	2,135	5,288	5,436	10,724
飯富村	798	2,059	2,224	4,283	南中郷村	2,293	5,803	6,043	11,846
常北町	2,417	6,080	6,566	12,646	磯原町	4,885	11,885	12,161	24,046
桂村	1,926	4,838	5,112	9,950	関南村	608	1,595	1,663	3,258
御前山村	914	2,500	2,682	5,182	大津町	1,700	4,176	4,245	8,421
大洗町	4,280	9,181	10,635	19,816	平潟町	661	1,907	1,763	3,670
西茨城郡	17,583	46,617	49,558	96,175	関本町	1,458	4,573	3,648	8,221
笠間町	4,930	12,657	13,497	26,154	鹿島郡	21,298	60,769	64,368	125,137
友部町	3,454	9,212	9,618	18,830	旭村	2,784	8,122	8,685	16,807
岩間町	2,561	7,014	7,481	14,495	銚田町	4,964	13,409	14,217	27,626
七会村	774	2,121	2,276	4,397	大津村	1,897	5,242	5,641	10,883
稲田町	1,432	3,756	4,009	7,765	大野村	1,802	5,523	5,804	11,327
岩瀬町	4,432	11,857	12,677	24,534	大鹿町	2,778	7,957	8,422	16,379
那珂郡	21,039	56,300	58,734	115,034	神栖村	2,737	7,958	8,631	16,589

(備考) 稲敷郡河内村は4月30日現在の源清田、生板、長竿村を合計したものである。

世帯数及び人口 (昭和30年4月30日現在)

調査課人口調査係

市町村別	世帯数	人 口			市町村別	世帯数	人 口		
		男	女	計			男	女	計
若松村	845	2,774	2,935	5,709	谷和原村	2,010	5,703	6,114	11,817
波崎町	3,491	9,784	10,033	19,817	豊里村	1,940	5,593	5,656	11,249
行方郡	12,980	36,600	38,949	75,549	吉沼村	997	2,711	2,989	5,700
麻生町	3,592	10,381	10,945	21,326	作岡村	625	1,774	1,852	3,626
牛堀村	1,250	3,496	3,721	7,217	菅間村	388	1,163	1,218	2,381
湖来町	3,184	8,696	9,453	18,149	筑波町	3,775	10,099	10,694	20,763
北浦村	2,116	6,275	6,673	12,948	大穂町	1,375	3,888	3,929	7,817
玉造町	2,838	7,752	8,157	15,909	真壁郡	13,897	39,899	42,140	82,039
稲敷郡	20,584	56,093	59,028	115,121	関本町	1,110	3,201	3,466	6,667
江戸崎町	2,504	6,558	7,067	13,625	河内村	696	2,142	2,227	4,369
美浦村	1,732	4,856	5,144	10,000	黒子村	822	2,375	2,404	4,779
阿見町	4,116	10,681	10,992	21,673	明野町	3,091	9,230	9,598	18,828
葦崎村	1,076	3,271	3,242	6,513	協和村	2,489	7,354	7,698	15,052
牛久町	2,911	7,822	7,841	15,663	大和村	1,441	4,196	4,372	8,568
新利根村	1,837	4,872	5,230	10,102	真壁町	4,248	11,401	12,375	23,776
大須賀村	627	1,787	1,888	3,675	結城郡	9,393	27,681	29,391	57,072
東村	1,691	4,860	5,374	10,234	八千代村	4,217	12,777	13,474	26,251
阿波村	616	1,704	1,864	3,568	千代川村	1,615	4,570	4,864	9,434
桜川村	1,070	2,797	3,077	5,874	石下町	3,561	10,334	11,053	21,387
河内村	1,504	4,369	4,626	8,995	猿島郡	20,371	61,103	65,185	126,288
金江津村	900	2,516	2,683	5,199	総和村	3,250	10,143	10,644	20,787
新治郡	15,922	44,143	45,895	90,038	五霞村	1,482	4,870	5,069	9,939
出島村	3,517	9,783	10,071	19,854	三和村	3,218	10,043	10,576	20,619
玉里町	983	2,837	2,846	5,683	富里村	1,547	4,728	5,140	9,868
八郷町	5,748	16,132	17,035	33,167	沓掛町	949	2,809	2,983	5,792
千代田村	2,112	6,095	6,275	12,370	岩井町	5,871	17,146	18,381	35,527
藤沢村	740	1,883	1,978	3,861	境町	4,054	11,364	12,392	23,756
斗利出村	485	1,252	1,317	2,569	北相馬郡	11,307	30,228	32,015	62,243
山ノ荘村	496	1,373	1,420	2,793	菅生村	688	2,153	2,168	4,316
栄村	634	1,586	1,679	3,265	内守谷村	319	915	984	1,899
九重村	849	2,298	2,374	4,672	守谷町	2,108	5,911	6,264	12,175
栗原村	358	904	900	1,804	藤代町	2,317	6,309	6,788	13,097
筑波郡	17,216	48,171	50,325	98,496	取手町	4,112	10,206	10,737	20,943
谷田部町	3,955	11,023	11,252	22,275	利根町	1,763	4,734	5,079	9,813
伊奈村	1,651	4,761	5,062	9,823					
板橋村	500	1,456	1,589	3,045					

生産動態統計調査

昭和30年5月度分

織 維 部 門

(調査課商工調査係)

本表は、生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸和紡糸以外の紡績工場、および抽出調査工場は含まれていない。

(1) 工場、労務者及び設備運転状況

部門別	業種別	工場数			在籍従業員			設備						
		全工場	操業	操業度	男	女	計	機種	単位	運転可能	運転不能	実働	稼働率	
		364	356	98	550	1,638	2,188	—	—	—	—	—	—	—
紡績	特紡糸	7	7	100	29	92	121	紡織機	錠	17,104	6,656	—	—	—
	和紡糸							リ紡機	”	2,896	—	—	—	—
織物	計	314	311	99	269	928	1,197	織機	台	1,543	91	1,087	70	
	綿織物	20	20	100	73	292	365	広巾(27吋以上)	”	598	46	353	59	
	絹織物	294	291	98	196	636	832	小巾(27吋未満)	”	300	17	150	50	
製品	メリヤス製品	10	10	100	54	123	177	ミ編機	台	40	28	28	70	
								シ機	”	224	155	121	54	
								ン計	”	115	18	88	77	
								ン計	”	69	103	6	9	
								ン計	”	22	10	22	100	
	丸編機	”	18	24	5	58								
雑繊維製品	4	4	100	6	14	20	撚製糸機	錠	1,945	—	835	43		
							網製機	台	243	—	16	6		
							動力製機	”	233	—	8	3		
							動力製機	”	10	—	8	80		
品	縫製品	22	17	77	106	429	535	電気裁断機	台	23	6	17	74	
								ミシミン	”	670	214	308	46	
								ミシミン	”	542	181	293	54	
								足踏ミシ	”	128	33	15	12	
その他	製綿	7	7	100	86	52	138	梳廻機	台	23	2	10	43	
									”	54	2	31	57	

(2) 生産状況

部門別	品目別	単位	生産高			引渡高			月度末在庫高		
			当月度	前月 100対比	前年同月 100対比	当月度	前月 100対比	前年同月 100対比	当月度	前月 100対比	前年同月 100対比
紡績	計	封度	56,836	97	79	41,835	79	60	42,922	154	419
	落綿糸	”	42,200	97	73	27,400	70	49	38,750	162	445
	特紡糸	”	5,850	121	—	5,850	133	—	875	35	—
	和紡糸	”	8,786	87	63	8,585	95	65	3,297	106	115

(2) 生産状況(続)

部門別	品目別	単位	生産高			引渡高			月度末在庫高			
			当月度	前月 100対比	前年同月 100対比	当月度	前月 100対比	前年同月 100対比	当月度	前月 100対比	前年同月 100対比	
織物	織物	平方碼	348,122	101	123	321,359	92	115	184,506	118	124	
	絹織物	"	182,210	108	129	155,026	95	113	125,670	127	121	
	絹織物	"	47,550	105	150	54,514	123	142	9,505	58	75	
	絹織物	"	4,760	105	45	4,982	105	45	3,516	94	145	
	絹織物	"	105,325	107	131	95,419	89	126	43,236	135	229	
	絹織物	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	絹織物	"	2,550	26	—	2,250	19	122	476	271	610	
	絹織物	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	絹織物	"	5,727	35	33	9,168	59	64	2,103	38	192	
	絹織物	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
製品	メリヤス製品	封度打	4,685	138	193	4,631	—	154	4,015	101	104	
	メリヤス製品	生地計着衣袋下	9,536	79	73	13,769	132	131	5,474	96	89	
	メリヤス製品	製肌外手靴	1,900	101	89	1,750	81	75	325	185	108	
	メリヤス製品	縫製	32	61	—	32	62	—	—	—	—	
	メリヤス製品	縫製	5,816	71	75	9,657	165	178	3,952	104	97	
	メリヤス製品	縫製	1,788	94	56	2,330	101	86	1,197	69	69	
	雑織品	漁具	封度	3,684	93	117	4,218	87	99	7,403	101	136
	雑織品	漁具	"	2,464	97	106	2,574	96	77	4,600	108	121
	雑織品	漁具	"	1,220	87	146	1,644	76	182	2,803	92	170
	縫製品	学作制乳既中肌麻	着	2,189	134	90	2,057	117	79	1,271	112	173
縫製品	校業	"	3,841	135	189	4,061	145	186	218	49	78	
縫製品	及子供服	"	2,250	93	37	2,479	94	76	—	—	—	
縫製品	及子供服	"	635	208	23	545	129	23	623	116	108	
縫製品	及子供服	"	928	137	63	863	108	410	755	109	37	
縫製品	及子供服	"	25,618	142	179	25,593	132	176	9,624	101	123	
縫製品	及子供服	"	7,652	171	384	7,340	143	330	3,128	111	276	
その他	製綿	封度	117,755	91	111	112,182	87	104	29,500	123	101	
その他	製綿	"	33,263	98	61	30,514	87	56	7,812	154	60	
その他	製綿	"	84,492	89	163	81,668	87	155	21,688	114	133	

(3) 生産の分析

業種別	単位	1工場当り生産高		1労務者当り生産高		業種別	単位	1工場当り生産高		1労務者当り生産高	
		当月	前年同月	当月	前年同月			当月	前年同月	当月	前年同月
和紡績工場	封度	8,119	10,251	469	540	雑織維製品工場	封度	921	786	184	150
綿織物工場	平方碼	9,111	7,781	499	591	縫製品工場	着	579	1,198	18	26
絹織物工場	"	163	145	57	55	その他	点	1,957	1,357	621	30
メリヤス製品工場	打	953	1,684	54	95	製綿工場	封度	16,822	26,517	853	1,278

昭和30年5月度分

機 械 鑄 物 部 門

索引 番号	製品名 用途別	生 産		出 荷		自己消費	月末在庫
		重 量(kg)	金額(千円)	重 量(kg)	金額(千円)	重 量(kg)	重 量(kg)
01	鉄 産 業 機 械 器 具 用	104,628	5,758	83,057	4,661	19,073	27,784
02	織 維 機 械 器 具 用	71,541	3,927	60,142	3,339	11,691	10,494
03	鉄 道 及 び 車 輛 用	9,021	580	9,021	580	—	—
04	電 気 及 び 通 信 機 器 用	5,366	291	5,366	291	—	—
05	農 水 産 機 器 用	—	—	—	—	—	—
06	港 湾 及 び 船 舶 機 器 用	—	—	—	—	—	—
07	雑 機 械 器 具 用	4,711	280	2,198	142	2,513	—
08	日 用 品	7,574	413	3,425	175	1,359	17,290
09	鑄 型 及 び 鑄 型 定 盤	3,510	133	—	—	3,510	—
10	ロ	—	—	—	—	—	—
11	そ の 他	2,905	134	2,905	134	—	—

製 品 名	工 場 数		月間生産高	月間出荷高	月末在庫高	資 材 名	消費(kg)	月末在庫(kg)
	対 象	操 業	前月100対比	前月100対比	前月100対比			
銑 鉄 鑄 物	11	11	93	100	110	銑 鉄 故 銑 鋼 屑	44,801 74,121 6,218	41,089 25,846 3,107

索引 番号	調査項目 製品名 用途別	生 産				重 量	
		青 銅 鑄 物		黄 銅 鑄 物		そ の 他	
		重 量(kg)	金額(千円)	重 量(kg)	金額(千円)	重 量(kg)	金額(千円)
01	銅 合 金 鑄 物	7,816	2,981	4,153	1,325	—	—
02	産 業 機 械 器 具 用	1,387	549	50	19	—	—
03	電 気 及 び 通 信 機 器 用	4,429	1,655	44	17	—	—
04	鉄 道 及 び 車 輛 用	11	3	—	—	—	—
05	港 湾 及 び 船 舶 機 器 用	—	—	1,941	696	—	—
06	軸 受 メ タ ル 手 続	943	382	—	—	—	—
07	管 バ ル プ コ ツ	897	314	2,118	593	—	—
08	建 築 用 品	101	61	—	—	—	—
09	日 用 品	—	—	—	—	—	—
10	そ の 他	48	17	—	—	—	—

製 品 名	工 場 数		月 間 生 産 高		
	対 象	操 業	重 量(kg)	前月100対比	金 額(千円)
銅 合 金 鑄 物	7	7	11,969	87	4,306

※ 本表の工場数は下記の定義に基いたものである。
 銑鉄鑄物については従業員10名以上
 銅合金鑄物については従業員5名以上
 を有する工場が調査対象となっている。

昭和30年5月度分

雑 貨 部 門

(対象工場数) 玩具、革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、金属洋食器、赤煉瓦は全事業所

業 種	玩具	革 靴	漆 器	金属洋食器	陶 磁 器	赤 煉 瓦
対 象	3	5	13	1	26	4
操 業	3	5	9	1	24	4
休 止	—	—	4	—	2	—

生産及び出荷状況 (前月対比は前月を100とする)

業 種	区 分 製品名	単 位	生 産 数 量			出 荷 数 量						月末在庫 数 量
			数 量	前月 対比	金 額 (円)	国 内			輸 出			
						数 量	前月 対比	金 額 (円)	数 量	前月 対比	金 額 (円)	
玩 具	金属製玩具	個	31,043	123	1,276,481	11,911	66	591,860	21,004	152	684,624	9,021
	プラスチック製玩具	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	セルロイド製玩具	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
革 靴	男子総革製靴	足	450	118	—	330	71	661,000	—	—	—	344
	婦人総革製靴	〃	85	81	—	79	71	178,500	—	—	—	181
	サンダル	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
漆 器 (木製)	食器類	個	300	—	16,000	300	—	16,000	—	—	—	—
	容器類	〃	553	111	64,880	553	112	64,880	—	—	—	30
	食卓子膳、盆類	〃	993	74	507,260	973	89	504,860	—	—	—	75
	その他	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
金属洋食器	スプーン	打	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	フォーク	〃	〃	〃	〃	—	—	—	〃	—	〃	—
	ナイフ	〃	〃	〃	〃	〃	—	〃	〃	—	〃	—
陶 磁 器	電気用品	瓦	28,000	108	—	28,000	108	9,978,000	—	—	—	—
	特別高压碍子	〃	1,574	92	—	1,574	92	1,263,000	—	—	—	—
	高压用碍子	〃	1,445	75	—	1,445	75	1,345,000	—	—	—	—
	その他	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
器	厨房用品(その他)	〃	113,115	33	—	94,480	37	964,370	—	—	—	273,638
	衛生用品(その他)	〃	45,250	266	—	53,250	67	880,000	—	—	—	10,200
	その他(その他)	〃	18,575	—	—	18,575	—	149,200	—	—	—	—
赤 煉 瓦	屯	355	71	—	355	71	1,050,000	—	—	—	—	

(備考) 前月末在庫過欠補正 (厨房用品325増) (衛生用品500増減)
調査対象は陶磁器3工場、革靴1工場増となっている。

昭和30年 国勢調査 茨城県実施本部設置さる



来る10月1日を期して全国一斉に国勢調査が実施されますが、この調査は国内の人口をその常住地において1人漏れなくは握し、各種の行政施策その他の基礎資料とする最も重要なものであります。そのために本県としても、地方事務所及び市町村関係者の協力の下に、調査区の設定、指導員及び調査員の任命、あるいは調査事務の指導講習などその諸準備を着々と行っております。更に去る6月24日には県実施本部を設置して、調査事務の効率的な実施態勢を整え、これが実施に万全を期すことになりました。

本部長 木村 総務部長
 次長 柏原 調査課長
 総務班長 山中 課長補佐 班員 7名
 調査 〃 照山人口調査係長 班名 8名

昭和30年国勢調査実施要領(抜すい)

総理府統計局

一 目的

統計法第4条第2項ただし書の規定に基き、昭和30年において国勢調査を行い、国内の人口の状況を把握しもつて各種行政施策その他の基礎資料としようとするものである。

二 調査の時期

昭和30年10月1日午前零時現在による。

三 調査の範囲

調査の時期に本邦(琉球諸島、小笠原郡島その他特別の事情がある地域で内閣総理大臣が指定するものを除く。)に常住する者について調査する。ただし、次の各号に掲げる者を除くものとする。

1. アメリカ合衆国及び国際連合の軍隊の構成員及び軍属並びにそれらの家族
2. 外国政府又は国際機関の公務を帯びて本邦に駐在する者及びこれに随伴する者並びにそれらの家族

四 調査の事項

1. 氏名
2. 世帯主との続柄
3. 男女の別
4. 出生の年月日
5. 配偶の関係
6. 国籍
7. 昭和16年末までに生れた者につき、昭和30年9月24日から30日までの7日間における就業状態、所属の産業の種類、職業の種類、従業上の地位及びこれ

らに付随する事項

8. 住居に関する事項(住居の種類並びに住宅につき所有の関係及び居住室の畳数)

五 調査の方法

1. 調査機関

都道府県知事は、内閣総理大臣の指揮監督のもとにその管轄区域内の調査の執行を指揮監督する。市町村長は、都道府県知事の指揮監督のもとに、その管轄区域内の調査の執行を管轄する。

2. 調査区と調査員

市町村長は、その管轄区域を平均50世帯の地域に分画して調査区を設定し、調査区地図を作成するものとする。

市町村長は、内閣総理大臣の任命にかかる調査員を各調査区に配置し、実地調査に当らせるものとする。市町村長は、内閣総理大臣の任命にかかる指導員を配置し、調査員の指導に当らせるものとする。

3. 調査票

調査は、世帯票を用いて行う。世帯票には、世帯主又は世帯の代表者が所定の事項を記入する。ただし四調査の事項の7及び8については、調査員が質問の上世帯票に記入する。

自衛隊の営舎内及び艦船内居住者並びに刑務所、拘留所及び少年院の収容者の調査は、特別の調査票を用いて行う。



(統) (計) (用) (語) (の) (解) (説)

〔ラウンド・ナンバー(Round number)〕 十、百、千のようには半ばのない数である。

〔出生率〕 年間の出生数を妊よう年令の女子(15才~50才位)の人口数で割つたものをいう。

〔アンケート〕 (尋問調査) 代表的人物に対し、社会現象その他についての質問を差し、回答を求める方法という。

〔二重価格制度〕 生産者、消費者の両方を共に保護する

ため、政策的に生産者価格を引上げて、消費者価格を引下げる制度である。

〔バーター貿易〕 これは俗に物々交換的な輸出入方式である。しかし現在は原始的な物々交換は殆ど行われず相殺信用状によるか、あるいは第三国銀行に一種の保証金を積立てて、それから現物を相互に引渡し合う方式を用いている。広くいえばオープン・アカウント(清算勘定)によるバーター貿易である。

: : : : :
: 編 集 室 :
: : : : :

もうつ陶しい梅雨もようやく明けて、いよいよ本格的な夏がやつて来ました。心配された水害も今のところ東北地方の一部や北海道の北部を除いては、大したこともなく済みましたが、今年は豆颱風が数多く襲来するかも知れないそうです。私たちは大いに警戒しなければなりません。夏のきびしい暑さも、私たち人間からは大変嫌われているが、農作物の生長には、絶対に欠くことのできないものであります。夏の魅力は何といつても、スガスガしい潮風と夕立後の涼しさでありましょう。それに加えてうちわとゆかたも夏のしぎになくなくてはならないものです。それにビールが添えられれば、私たち一般大衆にとつては、天国かも知れない? 今年は綿糸相場暴落によつて、市販の綿織物の価格は2~3割安くなるだろうといわれて来たが、私たちの手もとにはそう安く入らないから不思議である。その間の利益は一体どこへ行つてしまうのでしょうか? 又終戦後にわかに本県の特産物になつた水府うちわは、毎年40~50万本(県内5万本位)が県内各地に販売されているそうであるが、一昨年は香港、沖縄方面へ約3万本位輸出して好評を博したそうです。

先般来より昭和29年事業所調査の結果に基づいて、毎月労働統計調査の指定事業所の選定替えを行つて来ましたが、このたび日製日立工場など190ヶ所が指定を受け

て、5月分より新しく調査を依頼することになりました。

そもそもこの調査は労働者の雇用、給与及び労働時間などの動向を月々には握して、わが国における労働、経済、社会政策の基礎資料を作成する重要な調査の一つであります。

従来の調査対象は昭和26年事業所調査の結果に基づいて選定したものですから、その後の経済、社会、労働の諸条件も相当変化しており、時代の要請とも相まって、今回の指定替えとなつたものであります。

調査関係者及び各事業所の方々におかれましては、この調査の重要性を了とされ、あくまでも正確、迅速をモットーとして、なお一層の御協力をお願いします。

◎表紙の写真は夏にちなんで大洗海岸であります。

● 統 計 だ よ り

☆6月2日……統計協会鹿島郡支部の定期総会が、鹿島町で開催され、柏原課長、小島主事が出席した。

☆7月1、2日……第五回全国庶務主任会議が東京都で開催され本県から山中課長祐佐、小島、足立主事が出席した。

☆7月9日……定例地方事務所調査課長会議を統計館において開催

☆7月11、12日……北関東ブロック区勢調査事務打合会議が栃木県で開催され、本県より柏原課長外12名が出席した。

(14頁よりつづく)

(6月号の分)

			(誤)	(正)
16頁	G卸売及び小売業	8月中販売額(千円)	5,260,50	4,879,650
	〃	1年間	62,003,053	60,814,853
	40一般卸売業	8月中販売額	3,508,062	3,127,062
	〃	1年間	40,042,845	38,852,645
4081	機械器具卸売業	8月中販売額	491,390	110,390
	〃	1年間	2,380,709	1,192,509